

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って** **届けて** **広めよう** //

# WE しもやま LOVE



## 「しもやまラリーよってらっ祭みてらっ祭」 振り返り



▲OPセレモニーのデモ走行



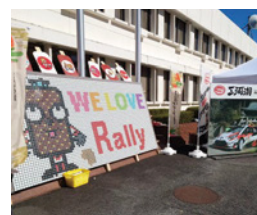
▲下山地区体育大会の様子



▲スマイルフェスタ出展



▲TGRラリーチャレでの記念撮影



▲エコキャップアートお披露目

下山地区で世界ラリー選手権の機運醸成を図るため、10月8日（日）～12月3日（日）の期間に実施したラリー応援月間「しもやまラリーよってらっ祭みてらっ祭」が盛況のうちに終了しました！

下山地区体育大会でのオープニングセレモニー（本誌12月号で紹介）を皮切りに、地区内外イベントでのPRブース出展やラリー講座などを行い、住民の方々にラリーを身近に感じてもらうことができました。また、期間中は「ビレッジドレッシング」と題し、大沼自治区などでラリー装飾をするとともに、協力店舗においてインスタキャンペーンを実施し、多くの方に五平餅をはじめ下山地区のグルメを堪能してもらえました。

WRC三河湖SSの当日は、しもやまラリー実行委員会をはじめ、ボランティア約30名や出店事業所によるおもてなし活動を実施し、観戦者約2,000人に対して、下山地区の魅力を発信しました。

来年度のラリージャパンは、令和6年11月21日（木）～24日（日）の開催が決定しました。今後も住民の皆さまがラリーを身近に感じ、わくわくするような企画を考えますので、一緒に応援しましょう！



▲試走時の選手へのもてなし



▲WRC三河湖SSで活動したスタッフ・ボランティアで記念撮影



▲五平マンを持つ勝田貴元選手



▲イベントの様子（上・下）

12月3日（日）、下山運動場にてエンジョイ・ドライビングin豊田（下山）が開催され、地区内外から約150名の方々にご来場いただきました。オートテストはもとより、WRC参戦のラリードライバーによるトークショーなど貴重なお話を聞ける機会にもなりました。最後には、応援月間のフィナーレとして、これまでの活動の振り返りや選手のサイン色紙など豪華景品をかけたジャンケン大会を行い、大いに盛り上がる中、応援月間を締めくくりました。

御協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



## トヨタ工業学園の地域貢献活動における住民との交流

11月17日（金）に大沼自治区をはじめ3団体が、トヨタ工業学園生を受け入れました。今回は、これまでの環境整備作業だけでなく、ラリーのリエゾン盛り上げ企画への参加や大沼小学校では児童とのふれあいを行いました。リエゾン盛り上げ企画では、ラリーカーが通過するたびにフラッグを振りながら声援を送り、18日（土）の三河湖SSに向け、地域住民と一緒にラリーを盛り上げてくれました。大沼小学校では遊具のペンキ塗り作業後、休み時間に児童とのふれあいの機会がありました。楽器演奏、オセロゲーム、ものづくりを楽しみました。オセロゲームで、児童と学園生が対戦した時には児童が不利になると、学園生が兄のようにアドバイスする姿も見られました。

今年度最後の24日（金）には洞樹院（大沼町）の参道整備後に地域住民との交流会を開き、1年間の活動を労うとともに交流を深めました。1年間、学園生のがんばりを見てきた自治区の方々からは「コツがつかめれば、自分たちで考え、先を見越して動いてくれる」「やりにくい作業はその場で改善してくれ予定以上にはかどった」「仕事を楽しみながらやっているよね」など、ひたむきに取り組む学園生を子どもを見る親のような眼差しで見る地域の方々が印象的でした。

トヨタ工業学園の指導員からは「遠く親元を離れて暮らしている生徒もいて、下山の方々にあたたかく迎えていただき、一緒に作業をする事を生徒たちも楽しみにしている。相手の事を考えて自ら考動する事の大切さと利己より利他の精神を下山の方々に教えていただいています」と研修目的を忘れ、地域住民に溶け込んでいる学園生の姿が印象的でした。



▲大沼小学校 児童とのふれあいの様子



▲歩幅を考えながら、階段を設置



▲交流会の様子



## 三河湖観光センターが長年の歴史に幕

昭和54年に建物が完成した三河湖観光センターは、令和5年11月30日をもって、44年間の歴史に幕を閉じました。

同時に、市内外を問わずにたくさんの観光客や常連客で賑わってきた、センター内の食堂も営業終了となりました。長年、名物の五平餅をはじめとした美味しいお料理を提供してきた、店主の高田さんは「遠くからもたくさんのお客さんが来てくれてありがたかった」「ここに働きに来ることで、みんなの元気な顔が見られて楽しかった」と話していました。今後、三河湖観光センターは建物の建て替え工事を行い、令和6年11月にリニューアルオープンする予定です。



▲食堂の歴代スタッフの方々



## 自治区プラン報告会で、下山の現状を報告、共有

12月1日（金）、下山地域まちづくり推進協議会が、自治区プランのこれまでの取組状況や地域が抱える課題を共有し、今後より効果的に地域の課題を解決するために、自治区プラン報告会を開催しました。当日は、下山地域会議委員や地区外からも参加者が訪れ、約100人がしもやまマイルプランの取組状況を聞きました。

各自治区が報告会に向けて、令和3年度から約3年間の取組状況などを振り返り、進捗状況、自治区運営で工夫したことや課題に感じていることを発表しました。

コメンテーターとして、旭地区の敷島自治区で活動する鈴木辰吉氏を迎え「下山地区は各自治区が主体的に取組を行い、素晴らしい」「今後も人口減少、少子高齢化などが進んでいくが、現実を受け止め、地域として何ができるかを考えてほしい」など各自治区の取組に対するコメントや今後に向けたアドバイスをいただきました。

令和6年度は、令和8年度から始まる「後半の取組（5年間）」の計画を考える年です。地域の困りごとの洗い出しやその解決に向けた取組を地域一丸となって進めていきましょう。



▲報告会の様子



## わくわく事業団体の紹介 Vol.5 阿蔵組

●阿蔵組（代表：小木曾 義一郎）

【事業内容】須賀神社所蔵 ふすま 農村舞台襖絵修理及び欠失面の復元画作成

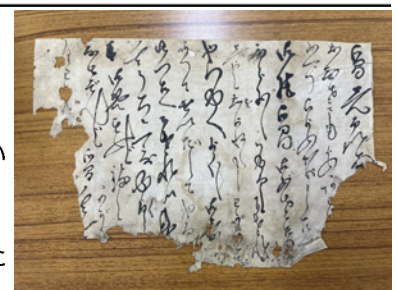
私たちは、愛知県立芸術大学と共働し、須賀神社の襖絵の修復を行いつつ、伝統芸能「三番搜さんぱそう」の継承に取り組んでいます。

昨年襖絵の修理に取りかかり、襖絵の下張りが古文書になっていたため、解読を豊田市 市史編さん室に依頼し、その結果が出ました。

文化財として貴重な文献こそ見つかりませんでした。中身を見ると興味深いものばかりでした。最も古い資料は、寛政元年（1789年）の暦の一部で驚きました。

他には大島村（現足助地区東大島町）に置かれた旗本石川家の役所に関する資料や、現代で言う学生の教科書にあたる手習い・手本類も多く残されていました。

面白いと思ったのは「わがままな奴ゆえ精出してやるように伝えて欲しい」等と書かれた書状です（写真）。いつの時代も人間は同じですね。



▲古文書の一部（書状）

【記事：阿蔵組 武藤】



## 下山の自然あれこれ「⑦モミジの紅葉」

今年度も、下山地区のモミジは鮮やかに紅葉しました。日当たりの良い個所では11月上旬から紅葉が始まり「今年は平年よりも早いなあ」と思っていたのですが、日陰や標高の高い場所にあるモミジは12月頭まで紅葉していたので、今年度は「やや早くから始まって終わりは平年並み」というところでしょうか。

ところで、モミジはなぜ赤く紅葉するのでしょうか。こんな疑問を持ったことはありませんか？

モミジが赤くなるメカニズムを、少しだけ専門的に解説してみます。秋に気温が下がってくると、植物は葉を落とす準備を始めて、葉っぱの付け根に離層（りそう）という薄い膜を作り、葉と幹を結ぶ養分の通路を通りにくくします。葉内では葉緑素が壊れて緑色が抜けていく一方で、光合成によるデンプンが溜まり、それら残存物質で化学変化が起こって「アントシアン」という成分が合成されます。これが紅葉の赤色成分です。

日中と夜の気温差の大きい日がある年は、モミジの葉は鮮やかに赤くなります。日中に気温が高ければ光合成で多くのデンプンが作られ、それを元にアントシアン（赤色）が多量に作られるからです。

下山地区には、広域農道や三河湖周辺、野原川沿いなど、紅葉の名所がたくさんあります。また、次回の紅葉の時期が楽しみです。



▲11月5日、三河湖園地の紅葉



### 連載コラム「せつつが行く！ Vol.8」

#### 【郷土愛にあふれ 大沼雅楽の継承者に】



根崎の交差点を大沼方面に向かうと、下山運動場の壁面に「雅楽の音色が響く学校」と書かれたステンドグラス調の壁画が目を引きまします。これは、市指定無形民俗文化財の「大沼雅楽」のことです。

大沼小学校の体育館に入ると、音出しをするしょう ひちりき笙やしやう箏など楽器の甲高い音が響いてきます。「大沼小雅楽ながはまよしきクラブ」は、毎週月曜日に雅楽の練習に励んでいます。今年から新たに講師として加わったのは永瀆佳喜さん。義父の勧めで雅楽に出会ってから25年。偶然見た新聞記事で「大沼雅楽会」の事を知り、特技を活かして地域に恩返しが出来ればと児童の指導を行っています。普段はトヨタ自動車かすめで技能系メンバー20人以上をまとめる電気自動車のモーター開発分野の専門家でありながら、渡刈町で「糟目雅楽くらぶ」を主宰し雅楽の普及にも取り組んでいます。永瀆さんが全体練習に参加すると、それまでバラバラだった6つの楽器の音色が徐々にシンクロし始め、最後には1つの音色に融合していく様子に感動を覚えました。練習後に「純粋に雅楽の音色を楽しみ、卒業後も郷土愛を大切にし伝統文化を受け継いでいって欲しい」と子どもたちに対する想いを語ってくれました。



▲2月3日（土）の雅楽発表会に向けた練習の様子。大沼雅楽会の岩月さんと先生も指導に熱が入ります



▲笑顔で児童と接する永瀆さん



# 完全予約制のマイナンバーカード申請、受取の臨時窓口を開設します

下山支所で、申請済みのマイナンバーカードの受取、顔写真の撮影を兼ねた申請のお手伝いをします。

■日時 令和6年3月6日（水）9：30～12：00、13：00～15：00

※予約状況により、終了時間を繰り上げることがあります。

■対象

マイナンバーカードの受取：カードを申請済みで、受取のご案内（黄色の封筒）が届いている方

マイナンバーカードの申請：豊田市に住民登録をしている方

■予約方法 【1月23日（火）から予約開始】

①右の二次元バーコードを読み取り、インターネットから予約

②マイナンバーコールセンターへ電話（0570-083-130）

■予約締切 **令和6年3月4日（月）** 定員に達し次第、締め切り

■持ち物



マイナンバーカードの受取	マイナンバーカードの申請
①本人確認書類 A 1点かB 2点 （下記参照） ②受取のご案内（黄色の封筒）	本人確認書類（下記参照） ※以下のいずれかの組合せを用意 ・「A 1点とB 1点」か「B 2点と通知カードまたは個人番号通知書」をお持ちの方 ⇒ 簡易書留などで、自宅へ郵送 ・「B 2点のみ」をお持ちの方 ⇒受取は、マイナンバーカード交付窓口（東庁舎5階）
<b>【本人確認書類の種類】</b> A（顔写真付き）：運転免許証、旅券など官公署が発行した顔写真付きのもの B：保険証、診察券、学生証など「氏名+生年月日」または「氏名+住所」の記載があるもの	

■その他

- ・受取の方限定で、保険証の利用登録、公金受取口座の登録サポートも行います。  
（公金受取口座の登録をされる方は、ご自身名義の通帳またはキャッシュカードをお持ちください）
- ・15歳未満の方は、法定代理人の同伴が必要です。
- ・申請からカードができるまでに約1か月かかります。
- ・**下山支所では、予約の受付、手続きの問い合わせはできません。下記の連絡先にご連絡ください。**

【問合せ】市民課 マイナンバーカードコールセンター ☎ 0570-083-130

平日8：30～17：15、休日（原則第2日曜、第4土曜）9：00～17：00

## 下山地区データ



## 発行者情報

編集・発行 豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）  
毎月15日発行

お問い合わせ TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344  
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



地域記者を募集！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！



〔 社協下山支所だより 〕

# まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL：0565-90-4005 / FAX：0565-90-2419 / MAIL：shimoyama@toyota-shakyo.jp



## デイサービスの活動の紹介『まどいのじ～ば～♥』

まどいの丘デイサービスセンターには人気の『まどいのじ～ば～♥』活動があります。活動の内容は地域の方から寄付していただいたタオルで雑巾を作り学校にプレゼントしたり、毛糸でアクリルたわしを作りイベントで配布したり、また、広告を使ったゴミ箱を作成し下山地区のこども園・交流館などにプレゼントしています。



挿し木して育てます



雑巾を縫って学校に寄付



WRC 選手へのプレゼントに「におい袋」を作り  
早速使って下さり嬉しいです！



米袋のシール貼り



### その他にこんなこともやっています

- ・鈴ボール作り
- ・挿し木
- ・ささゆりの支柱
- ・切干大根
- ・ジャンボオセロ作り
- ・切手切り
- ・梅ジュースづくり
- ・米袋のシール貼り
- ・WRC のプレゼント作り

『まどいのじ～ば～♥』活動ではお仕事  
を募集しています。

長年の人生経験を生かしてできる作  
業などありましたら、是非お知らせく  
ださい。

#### 【問合せ】

まどいの丘 デイサービスセンター  
TEL 90-4005 担当 溝口

## ～しもやまで輝くひと・グループ紹介～ Vol. 4

### 「 巴ヶ丘小学校 < 生活環境委員 > 」

育てた花の苗を地域に配る活動をしています！

12月11日(月)には巴ヶ丘小学校の児童がキンセンカの苗をまどいの丘に持ってきてくれました。まどいの丘では現在オレンジガーデニングプロジェクトを実施しており、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の花の苗と種を募集しています。この企画のために巴ヶ丘小学校の児童が生活環境委員を中心として、寒さに強いオレンジの花であるキンセンカを育ててくれました。持ってきてくれた苗はデイサービスの利用者が受け取り、大切に育てる予定です。

#### 【プロジェクトに関する問合せ】

豊田市社会福祉協議会下山支所 TEL 90-4005  
まどいの丘包括支援センター TEL 90-4335



## 講座報告

**11/29** **スマイル☆キッズ④**  
**~クリスマス&人形劇~**  
参加 11組



講師にボランティア人形劇団「ころりん座」をお招きし、まどいの丘デイサービス利用者の方と一緒に人形劇などを楽しみました。

かれんママの指導によりクリスマスブーツを作り、サンタさんにプレゼントを入れてもらいました。今回も多くの笑顔が見られました。



**12/8** **園芸講座②**  
**多肉植物でリースと寄せ植え**  
参加 8人



講師に柴田園芸の柴田奈穂子先生をお迎えし、和気あいあいとした雰囲気の中、寄せ植えを楽しみました。多肉植物の特徴や管理の仕方を親切丁寧に教えていただき、参加者からも好評でした。クリスマスのアレンジをし、素敵な作品が出来上がりました。

## お知らせ

### 自主グループ活動報告

**11/18** **下山囲碁・将棋クラブ**  
秋の将棋大会  
優勝 高木龍二さん  
次回:春の大会 (4月)

**12/3** **ささゆり下山保存会**  
総会と種子植え替えを行いました



### ロビー展示

パッチワーク&キルト展  
**自主グループ なごみの会**  
1月31日(水)~2月21日(水)

### 子育てサロン ぷらす

おおきなおへやで あそぼう!

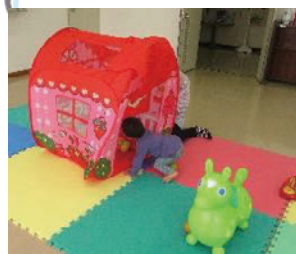
ちょっとだけ 毎月第3木曜日  
10時~14時



2/15 3/21

午前中のみ  
工作できるよ!

ボールプール  
ロディ(ライム色)が  
新しく子育てサロン  
ぷらすのおもちゃに  
仲間入りしました。



### 忘れ物はありませんか?

交流館窓口付近に忘れ物を並べています。  
お心あたりのある方は職員にお声かけください。  
(帽子、靴下、ストラップ、化粧品など)  
3月末で処分させていただきます。



# 茶茸き屋根

しやままで見るとこの大屋根は...

絵と文をむらこころ

しやまのあついでお寺やお屋敷の屋根の様は、この大屋根の中は茶茸き屋根だよ。  
 昔の屋根は茅とススキやヨシを束ねて使った分厚い屋根をふいたんだよ。  
 身近な材料で冬は温もりを逃さず、夏には木陰になるように涼しく、冬は  
 風も吹くと、茶茸を屋根はすぼく、屋根なんだよ。そして外に置いたら  
 すぐ腐ってしまう。茶茸は雨を溜らせず、20年30年と屋根が長持ちしたんだよ。  
 さて、屋根のふく茅は大変な量がいるので、何年も刈り貯めておいたよ。秋が終り、  
 ススキの穂が枯れてすっかり乾いた頃に刈り取って屋根裏に貯蔵しておく  
 のは毎年冬の初めの大事な仕事だったよ。そして茶茸き屋根  
 は「ふくむ」が変え、向きによつて傷みが違うので、今年  
 は「ふくむ」茶茸を貯めておいたよ。そして茶茸き屋根は、  
 雨から屋根をぬぐって来たんだよ。

でも石油ガス電気と燃料が変わり、薪で煮炊  
 きしなくなったので、屋根の茅が傷みやすくなり  
 ところどころで屋根をくくるので、茶茸き屋根の良  
 いところを残して今の形になったんだよ。  
 今では文化財指定などの特別な屋根以外は  
 茅で新しくふくむのは出来ないので、今残っている  
 茶茸き屋根は、くも、お寺なんだよ。

- ① 屋根の骨組みは、冬に切った竹と乾燥丸太を荒縄で組んで作る。
- ② 屋根裏から見える下地部分は「ヨシ」や「ヨシ」を縄で止め、美しく。
- ③ 茅(ススキ)の根元の曲った茎は「押し切り」で切り落とし、軒先からとろとろながら、細竹を縄で止めて、押しガキで軒先の形をたいて整える。

- ④ 上へ上へ茅を重ねては、縄と細竹で止めて、屋根の角度に押しガキでたたく。(茅の下にムギワラを入れてかき増しする、これもある)
- ⑤ 土間の茅を編み重ね、防水のシートや木皮をかぶせて、縄でしばり、竹で止める。
- ⑥ 千木をのせて棟を固定。水は防火の文字

